

海外研究助成成果発表会

チュラロンコン大学：第3回研究助成成果発表会

日時 平成7年1月20日(金)10:00～17:00
場所 同大学 プレジデントビル・コンファレンスルーム
テーマ「健康と生化学」

開会式ではクラッセー・シャナゴーン高等教育省大臣は、「旭硝子財団が長い間研究助成を継続していることに敬意を表するとともに、チュラロンコン大学は優れた研究成果を社会へ広く発表して、タイ国民のために貢献して欲しい」と期待の言葉を述べられました。また、チャラ・スワンヴェーラ学長が特別講演を行うなど、熱のこもった発表会となった。質疑応答では、学内はもとよりバンコク近隣の大学から参加した研究者から熱心な質問が出るなど、活発に討論が行われた。

- (1) チャラ・スワンヴェーラ学長
特別講演:「タイ国民の健康に関する基礎科学の研究課題」
- (2) ビライ・チェンタン助教授
「赤外線レーザーにより神経遮断されたラットの筋繊維の研究」
- (3) ピヤラタナ・トオスコウオン助教授
「バンコクと東北タイの住民における筋力の差と突然死に関する相互関係の研究」
- (4) キラカーン・ムアングナポー助教授
「単一バイオリクターによるブタノールの高効率生産」
- (5) ブーンナット・ライスニットサラクル講師
「医療専門家のための心療法に関する訓練」
- (6) カーニット・スワンポリラクス博士
「タイ湾に生息する無脊椎動物の生理活性天然物に関する研究」
- (7) ポーンセップ・ティエンシワクル助教授
「エイズ感染症診断のための連鎖重合酵素反応試験の応用」





Copyright (C) The Asahi Glass Foundation